

敬語用法の原理的理解を促進する敬語学習支援システム

大阪府立大学 瀬田研究室 1171100084 岸本 雄

研究背景

敬語を適切に用いることは他者と円滑にコミュニケーションをとる助けとなる



必要なこと

敬語を正しく使うには、自分を含めた人物間の上下関係を捉えることと、敬語に関する語法を知っておくことの両方が必要

[萩野貞樹(2001) 『これが敬語ですよ』 リヨン社]

一方で

困難性

- ・ある場面における人物間の関係を把握
- ・その関係においてどの敬語種類が適切かを選択
- ・敬語種類ごとに語彙を変換

同時に行うことは容易ではない

研究目的

敬語用法の原理的理解を促進させる学習支援システムの開発

アプローチ

人物間の関係の把握



敬語種類の峻別

- ・謙譲語
- ・尊敬語
- ・丁寧語
- ・敬語不要

敬語表現への語彙変換



対話シーンにおける話者の認知プロセス

各段階での困難性



聞き手と伝達内容中の登場人物を区別せずに考えてしまう

謙譲語は自分をへりくだる時に使う、などといった曖昧な理解のまま語法を選んでしまう

語法の組み合わせを意識せずに変換してしまう

困難性の解決方法

人物間の上下関係に加えて、伝達場面と伝達内容が区別された図を正しく構築していくことで解決

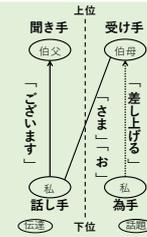
左の図と関連づけて、変換する語彙を細分化することで解決

しくみ図 伝達：話し手と聞き手との二者が対面・対話している状態
話題：話の内容であり、為手（行為者）と受け手がいる状態

例：姪である私が伯父に伝えた言葉

「私が亡くなった伯母さまにお花を差し上げたのは去年の今日でございました」

[萩野貞樹(2001) 『これが敬語ですよ』 リヨン社]



- 謙譲語：話題の領域に現れる「差し上げる」
- 丁寧語：伝達の領域に現れる「ございます」
- 尊敬語：伝達-話題間に現れる「さま」「お」

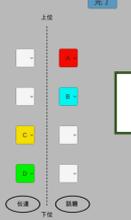
想定システム

・開発環境：Unity 2018.4.13

・プログラミング言語：C#

状況構造把握フェーズ

状況：CはBがAに物を渡していたことをDに伝える
関係：A：部長、B：課長、C：係長、D：平社員



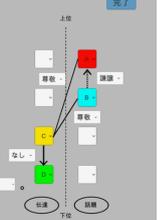
敬語種類峻別フェーズ

状況：CはBがAに物を渡していたことをDに伝える
関係：A：部長、B：課長、C：係長、D：平社員



敬語表現文生成フェーズ

状況：CはBがAに物を渡していたことをDに伝える
関係：A：部長、B：課長、C：係長、D：平社員



問：上記を参考にして、右図の空白にA~Dを埋め、色をつけましょう。
※伝達における話し手（黄）、聞き手（緑）、その伝達内容（話題）における動作の為手（青）、受け手（赤）上下関係とに注意すること。

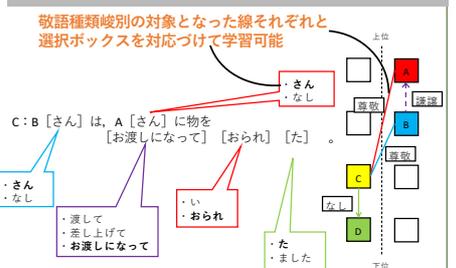
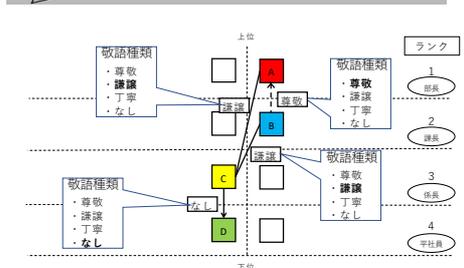
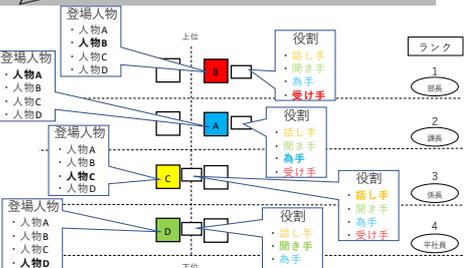
正解です。次へをクリックしてください

問：正しい敬語表現を用いて上の内容を文章化するとき、右図で選ばれた人物間の関係を示すに適切な語法を選びましょう

正解です。次へをクリックしてください

生成する敬語文：
C：B さんは、A さんに物を [お渡し] して [おられ] た。

正解です。タイトルへをクリックしてください。



学習者の入力：(ランク)に「人物」が「役割」(かざっこ内)
(ランク1)「人物A」が「受け手」
(ランク2)「人物A」が「為手」
(ランク3)「人物C」が「話し手」
(ランク4)「人物D」が「聞き手」

フィードバック
登場人物の役割とその間の上下関係共に把握できていません。まずは上下関係を意識してみましょう。

学習者の入力：「敬語種類」(役割) (ランク) から (役割) (ランク)
(かざっこ内)「尊敬」(為手) (ランク2) から (受け手) (ランク1)
「謙譲」(話し手) (ランク3) から (為手) (ランク2)
「謙譲」(話し手) (ランク3) から (受け手) (ランク1)
「丁寧」(話し手) (ランク3) から (聞き手) (ランク4)

フィードバック
敬語使用時の敬語種類を誤っています。どんな場合にそれぞれの敬語種類が用いられるのか復習しましょう。

学習者の入力：「語彙」(敬語種類)
(かざっこ内)「さん」(尊敬)、「おられ」(尊敬)
「さん」(尊敬)、「た」(なし)
「お渡しになって」(尊敬)

誤り部分リセット
C：B「さん」は、A「さん」に物を []「おられ」[た]。

今後の課題

システム実装（問題の自動生成機能）、実験、評価をすること